

# 秋山和慶&小山実稚恵の ドラマティック・ラフマニノフ 円熟を極める至高の ピアノ協奏曲第2番&交響曲第3番

2019

## 2/15金

### 京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後7時開演 (午後6時開場)

Friday, February 15, 2019 / 7:00PM

Kyoto Concert Hall

©伊藤菜々子

©ND CHOW

# 京都市交響楽団

## 第631回 定期演奏会

※本公演ではプレトークを開催いたしません。どうぞご了承ください。

The 631st Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮 **秋山 和慶**

Conductor : Kazuyoshi Akiyama

ピアノ **小山 実稚恵**

Piano : Michie Koyama

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番ハ短調op.18

ラフマニノフ：交響曲第3番イ短調op.44

Rachmaninov : Concerto for piano and orchestra No.2  
in C minor op.18

Rachmaninov : Symphony No.3 in A minor op.44

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)

まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。  
(お子様お1人につき1,000円/2019年2月8日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。  
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド(電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231
- ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ…………… (0570)02-9999 Pコード349-204
- ローソンチケット………… (0570)000-407 Lコード58099

お問い合わせ  
 京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>  
 京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>  
 ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
 (舞台芸術創造活動活性化事業)  
 独立行政法人日本芸術文化振興会



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。





# 京都市交響楽団 第631回定期演奏会

The 631st Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

半世紀を超える活躍で名実ともに日本の音楽界を牽引するマエストロ秋山和慶の指揮により、人気・実力でナンバーワンの名ピアニスト小山実稚恵を独奏に迎えて、最極上のラフマニノフを。王道の名曲、ピアノ協奏曲第2番と祖国ロシアへの哀愁漂うラフマニノフ最後の交響曲第3番で、円熟の境地に達した2人のベテランが繰り広げる熱きロシア音楽の至芸を、心ゆくまで堪能ください。

指揮

秋山 和慶

Conductor : Kazuyoshi Akiyama



1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキウス響音楽監督を歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、スイス・ロマン管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。1991年東京響創立45周年記念ワールドツアーでは全公演を

指揮して大成功をおさめ、1994年には同団第400回定期演奏会を記念したシェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」（演奏会形式）を指揮、各紙から絶賛を博し同年音楽界最大の話題となった。また同公演のCDは各レコード誌より国内外で高く評価された。ふたたび1996年東京響創立50周年記念ヨーロッパ公演を指揮して同公演を成功に導き、2001年には同団創立55周年トルコ・イタリア公演を指揮し各地で好評を博した。1997年にシェーンベルク：ヤコブの梯子、ヤナーチェクの歌劇「利口な女狐の物語」（舞台上演形式）、2000年ラッハマン：歌劇「マッチ売りの少女」（演奏会形式・日本初演）、ヤナーチェク：歌劇「カーチャ・カヴァノヴァー」（原語による日本初演）、2003年にはジョン・アダムズ：「エル・ニーニョ」（日本初演）を取り上げるなど常に新たな挑戦を続けている。これまでに第6回サントリー音楽賞（1975年）、芸術選奨文部大臣賞（1995年）、大阪府民劇場賞（1989年）、大阪芸術賞（1991年）、第36回川崎市文化賞（2007年）、広島市民賞（2008年）をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞（1994年）、第8回京都音楽賞大賞（1993年）、モービル音楽賞（1996年）、第29回サントリー音楽賞（1997年）を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞（広島）、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年度渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」（共著／アルテスパブリッシング刊）を出版。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者を務めるほか、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

ピアノ

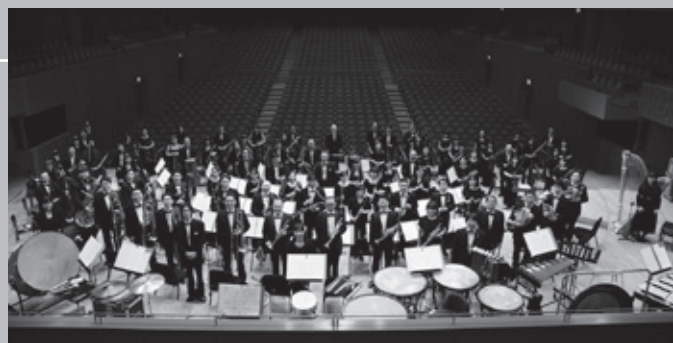
小山 実稚恵

Piano : Michie Koyama



©ND CHOW

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。2006年～17年までの壮大なシリーズ「12年間・24回リサイタルシリーズ」は、その演奏と企画性に於いて高い評価を受けた。2019年春からは、新シリーズ「ベートーヴェン、そして…」がスタートする。これまでに国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ放送響（現・チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ）、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、イギリス室内管、アカデミー室内管、ロッテルダム・フィル、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ワルシャワ・フィル、モントリオール響、ポルティモア響などと共演しており、フェドセーエフ、テミルカーノフ、マリナー、小澤征爾といった国際的指揮者との共演も数多い。協奏曲のレパートリーは60曲を超える。また、ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなどのコンクールでは審査員を務める。東日本大震災以降、被災地の学校や公共施設等で演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案し、ゼネラル・プロデューサーを務めるプロジェクト「子どもの夢ひろば“ボレロ”」を毎年開催している。CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結ぶ。30枚目となる最新盤は、「バッハ：ゴルトベルク変奏曲」で、「レコード芸術」の特選盤に選ばれた。また、著書「点と魂と—スイートスポットを探して」が、KADOKAWAより出版されている。これまで、2005年度文化庁芸術祭音楽部門大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞ならびにレコード・アカデミー賞（器楽曲部門『シャコンヌ』）、2015年度文化庁芸術祭音楽部門優秀賞ならびに第28回ミュージック・ペンクラブ音楽賞、2016年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2018年度大阪府市民表彰を受ける。2017年度には、紫綬褒章を受章している。東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。



©伊藤菜々子

## 京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらつとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 12/27(金)から発売!

❖ 次回予告 ❖

## 第632回定期演奏会

広上淳一のマーラー「夜の歌」! 世紀末に異彩を放つ後期ロマン派交響曲の金字塔

日時：2019年3月16日(土) 午後2時30分開演  
2019年3月17日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：広上 淳一（常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー）  
曲目：マーラー：交響曲第7番ホ短調「夜の歌」

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)



©K.Miura